



市政に対する 一般質問

ホームページにて一般質問の録画映像を公開しています。
二次元バーコードを読み取ってご覧ください。
※通信料がかかる場合があります。



かねこ 兼子

やすき 靖基

議員



財政健全化に向けた 部局横断型の取組

問 市に裁量がある事業を中心とした事業を見直しを行ったか。

答 行政アクションプランにおける重点取組として実施した。各種団体への補助事業など、結論を得られなかった事業もあることから、今回の取組を検証し、令和9年度の予算編成に活かしてまいりたい。

問 ゼロカーボンシティの観点を取り入れているか。

答 農業部門における取組としては、学校給食に袋井産の野菜や米を活用している。公共工事の関係では、建設工事登録業者に対し、施工に必要な資材や物品などの調達や、下請け工事の発注に当たっては、市内の事業者を優先するよう通知し、働きかけを行っている。



ゼロカーボンシティの実現に向けて

問 南部地域の液状化対策と防災時の避難については。

答 津波一時避難所までの全ての避難路において道路改良などの予防保全工事を行うことは、現時点では難しい。液状化により道路が通行できなくなる場合であっても、安全に避難できる複数の避難経路を確保していただくよう、防災訓練などの機会を通じて周知啓発に努めてまいりたい。



たかはし 高橋

よしひろ 美博

議員



いじめ・不登校への対応は

問 市内小中学校での暴力行為、いじめの発生件数が増えている。増加の要因は。

答 感情を言葉で伝えることが苦手で暴力に訴えてしまうことや、少子化や生活様式の変化による人と触れ合う機会の減少、スマートフォンなどの普及や、コロナ禍を経て、子どもたちの「リアルな体験」の減少も影響している。

問 不登校の未然防止策の一つに幼小中一貫教育による円滑な接続がある。その成果は出ているのか。

答 「架け橋プログラム」の実践で、入学児童の不安が軽減し、早い段階で学校に慣れ、登校渋りや泣いている子どもが少なくなった。中一ギャップについては解消に至っていない状況である。



校内教育支援センター「ほっとルーム」

問 不登校児童生徒の居場所の拡充は重要である。校内支援センター「ほっとルーム」の成果は。

答 教室に入りづらい子どもたちの安心できる居場所として市内全ての小中学校に設置しており、不登校担当の教員のほか、支援員「ほっとスタッフ」を配置し、児童生徒の学習支援や相談対応、ケアに取り組んでいる。今年度これまで小中学校で合わせて183人の利用があった。



おおた 太田

ゆうすけ 裕介

議員



成長戦略を踏まえた 企業誘致の今後は

問 国の成長戦略重点分野を踏まえ、本市が重点的に誘致する分野は。

答 市の産業特性、地元の利などを踏まえると、フードテックの分野をはじめ、地方分散型データセンターなどのAおよび情報通信の分野、さらには、電力の安定供給のための大規模蓄電設備施設など、エネルギー・GXの分野が優先的な誘致対象になり得る。

問 愛野地区産業団地の戦略的位置付けと競争力は。

答 誘致対象分野としては、例えば、産業観光施設を備えた製造業や静岡理工科大学との連携が可能な研究開発拠点などが考えられ、現在、企業誘致活動において、こうした強みを中心に積極的なPRを行っている。



国の重点投資対象17分野

問 4月1日から施行される共同親権制度の市の窓口と周知方法は。

答 相談窓口はこども若者家庭センターのこども支援課である。市民の皆さまが混乱や困ることがないよう、ホームページや広報ふくろいなども含めて、さまざまな媒体で周知してまいりたい。